

令和7年4月17日

令和7年度 大学院総合社会情報研究科 研究指導教員・研究指導アドバイザー リスト

日本大学教育憲章に基づき制定された「教学に関する基本方針」では、大学院教育の充実、発展を目指し、「学位プログラムとしての大学院教育の確立」が謳われています。骨子としては、(1)社会のニーズと合致する大学院教育の推進(2)学部教育と大学院教育の連携(3)大学院生に対する修学上の支援 となっています。

本研究科では、教育研究の質向上のために、大学院生各人の研究指導教員以外でも他専攻の研究指導教員及び通信教育部教員(下記リストに記載のある全教員)からも研究指導を受けられる体制を整えました。この体制を本研究科では、「研究指導アドバイザー制度」と称します。この制度により大学院生は、様々な研究領域(分野)の教員から直接、指導、アドバイス及び相談等を受けることが可能となります。

博士 前期課程	博士 後期課程			教 授 (主たる研究領域(分野))			准教授 (主たる研究領域(分野))			助 教 (主たる研究領域(分野))	非常勤
国際情報 専攻	総合社会情 報 専攻	M	O	陸 亦群 (経済政策, 応用経済学)	M	O	大八木 時広 (国際政治学, 欧州統合研究)			桶本 秀和 (政治学, 公共政策学) 谷川 孝美 (国際金融)	※ 泉 龍太郎
		M	O	加藤 孝治 (経営学, 流通論)	M	O	黒澤 壮史 (経営組織論, 経営戦略論)				
		M	O	神井 弘之 (行政学, 農政学)			井手 康仁 (国際政治学, 観光学)				
		M	O	井上 葉子 (グローバル・ビジネス・エコシステム)							
		M	O	瀧川 修吾 (政治学, 日本史)							
		M	O	前野 高章 (国際経済学, 経済政策論)							
		M	O	日吉 秀松 (国際関係学, 現代中国政治史)							
文化情報 専攻		M	O	島田 めぐみ (日本語教育, 言語テスト)	M	O	秋草俊一郎 (比較文学・翻訳研究)			福尾 晴香 (日本近現代文学)	
		M	O	清水 享 (東アジア史, 東アジア文化社会研究)	M	O	田嶋 倫雄 (英語教育学, ESP)				
		M	O	川嶋 正士 (英語学)	M	O	猪野 恵也 (英文学)				
		M	O	野口 恵子 (日本文学)	M	O	石部 尚登 (言語文化学)				
		M	O	山崎真紀子 (日本近現代文学)			小澤 賢司 (英語学)				
				鍋本 由徳 (歴史学)							
人間科学 専攻		M	O	田中堅一郎 (社会心理学, 産業・組織心理学)	M	O	岡山 敬二 (哲学, 倫理学)				
		M	O	釋 文雄 (行動科学, 心身医学)	M	O	中澤 瞳 (哲学, 倫理学)				
		M	O	古賀 徹 (教育学)	M	O	橋口 泰一 (スポーツ心理学)				
		M	O	森長 正樹 (スポーツ運動学)	M	O	時田 学 (教育心理学)				
		M	O	山本 大 (コーチング学)	M	O	黒田 友紀 (学校教育学)				
		18名		13名		3名		1名			
研究指導教員(大学院担当教員)				無印: 研究指導アドバイザー		計		合計			
MO: 前期課程○合教員 DO: 後期課程○合教員											
28名				7名		35名		35名			

【留意事項】 夏期・冬期・春期休暇等の期間を活用して、各指導教員の研究室において実施する面接(対面)授業やゼミナールを受講する際にこの制度を積極的に活用することをお勧めします。(※印教員は、研究倫理審査に係る相談に限ります。)しかし、それ以外の期間でも、面接(対面)に限ることなくメール等でも連絡、質問、相談等は随時受付しますので、指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。特に面接(対面)が比較的困難な社会人学生、地方在住(海外在住含む)学生等においては、メール等の利用もお勧めします。指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。また、各人の「研究指導教員以外の教員」または「研究指導アドバイザー」への連絡、質問及び相談等の際に面接(対面)を特に希望する場合は、指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)を通して予約をし、確実に面接(対面)が実施できるように計画してください。